

報道機関各位

宮城初！乳がん患者向けのエピテーゼ提供サービスを開始

公益財団法人仙台市産業振興事業団では2019年度より「働き方改革促進ビジネス開発委託事業」を開始しました。本事業では、働き方改革を促進する新製品・サービスのアイデアを県内の企業から公募し、開発を委託しています。この度、委託案件が事業を開始することになりましたので、お知らせいたします。ぜひご取材のほど、よろしくお願い申し上げます。

○採択ビジネス

エピテーゼによるこころとからだの働き方の改革

○企業概要

- 企業名 株式会社鈴木デンタルラボトリー
- 設立 2014年
- 所在地 石巻市わかば3丁目3-4
- 主な事業 歯科技工物（入れ歯や歯の詰め物などの補綴物、矯正装置）の製作、修理、加工

○採択事業概要

事故や病気などで欠損した体の一部（乳房、耳、指等）を見た目上復元する医療用人工物（＝エピテーゼ）を個人向けに提供するビジネスを新規に事業化しました。エピテーゼを提供するビジネスは宮城では初です。



エピテーゼ（人工）の乳房

○開発経緯

乳がんは、がんの中でも日本女性がかかる割合（罹患率）がトップであり、罹患数は増加傾向にあります。乳房切除手術を受けた女性の中には、喪失感により社会から遠ざかる人や、感染症のリスクや術後の化学療法を懸念し、必要な乳房再建手術以外の選択肢を望む患者や家族もいる中、体の一部をシリコンで補うエピテーゼの存在を知らない人も多くいらっしゃいます。

これまで宮城県内にはエピテーゼを製作している事業者はなく、未開拓の領域でした。歯科技工とエピテーゼには材料や道具、工程に共通点が多く、事業の親和性が高いことから、同社は新規事業として今回のビジネス開発にのぞみました。今後、エピテーゼの提供を通して女性の社会や職場への復帰を促進していきます。

また、歯科技工士は国家資格であるにも関わらず、専門学校卒業者の約7割が別の業界へ就職するなど、年々人数は減少し、業界の高年齢化が進んでいます。歯科技工だけでなく、エピテーゼを事業化することにより技工士の職域を増やし、また、エンドユーザーとの関わりを持つことで、業界の担い手を育成していきたいと同社では考えています。

働き方改革促進ビジネス開発委託事業

仙台市産業振興事業団が働き方改革をテーマにした新規ビジネスを公募し、開発を委託しています。

- ・現在働いている人がより働きやすくなる製品・サービス
- ・働けない人（障害者、外国人等）が働けるようになる製品・サービス
- ・企業が採用や長期雇用をできるようになる製品・サービス

【採択件数】2件

【契約期間】2019年6月～2020年3月

【採択金額】1社につき150万円

お問い合わせ

公益財団法人 仙台市産業振興事業団
経営支援部 人材確保支援課

仙台市青葉区中央一丁目3番1号
TEL：022-724-1116 FAX：022-715-8205
E-mail：koyoushien@siip.city.sendai.jp